

ファッション文化専門学校DOREME 実務経験のある教員等による授業科目一覧

学科	ファッションビジネス学科
専攻	ブランドMD専攻

授業科目	1年次		2年次		実務経験者 科目時間	ページ数
	単位 時間数	実務経験 教員	単位 時間数	実務経験 教員		
服飾造形	160	○	36	○	196	3,23
デザイン画	36	○	36	○	72	4,24
造形デザイン	36					5
メイキング			72	○	72	25
ゼミナール	72	○	108	○	180	6,26
パソコンワーク	54		72			7,27
ショップVMD	36	○	18	○	54	8,28
色彩学	36	○			36	9
マーチャンダイジング	36	○			36	10
アドバイザーワーク	18	○			18	11
ショッププロデュース	18	○	18	○	36	12,29
アイテム企画			36	○	36	30
F.コーディネーション	36	○			36	13
F.コーディネーションB	18					14
服飾美学	36	○			36	15
ファッションビジネス検定	36	○	36	○	72	16,31
キャリア開発			18	○	18	32
接客英語	18	○			18	17
ワーク	36					18
卒制ワーク			90			33
オープン実習	144	○	144	○	288	19,34
ファッションイベント	68		68			20,35
進級制作	72	○			72	21
卒業制作			72	○	72	36
計	966	754	824	630	1348	

ファッションビジネス学科

ブランドMD専攻 1年次 教育課程

学科名	ファッションビジネス		履修年次	1
コース名	ブランドMD		単 位	8
科目名	服飾造形		授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	阿部 瑠璃子		(必修)	選択
授業方法	講義	(演習)	実習	授業時間数 160
実務教員	○	宮城ドレスメーカー専門学校にて教員を経験したのち、総合学園ヒューマンアカデミー(株)にて非常勤講師として縫製を教授していた講師が、リメイクや基礎縫製等の技術を教える。		
授業の到達目標 及びテーマ	ミシン、ロックミシンをひとりでセッティングできる。 素材とデザインの関係を考えられるように。			
授業の概要	前期は、部分縫い、制作を通して造形の基礎を学ぶ。 後期はゴムパンツ、ベレー帽制作、進級制作。			
授業計画	前期	4月	用具の説明、使い方、手縫い	
		5月	ミシン、ロックミシン 基礎縫い、ピンクッション、トートバッグ、シャツ制作①	
		6月	ミシン、ロックミシン 基礎縫い、ピンクッション、トートバッグ、シャツ制作②	
		7月	ミシン、ロックミシン 基礎縫い、ピンクッション、トートバッグ、シャツ制作③	
		8月		
		9月	まつり、コンシールファスナー 部分縫い(パンツのファスナー、ポケット)	
	後期	10月		
		11月	ゴムパンツ、ベレー帽制作 進級制作①	
		12月	ゴムパンツ、ベレー帽制作 進級制作②	
		1月	ゴムパンツ、ベレー帽制作 進級制作③	
		2月	進級制作④	
		3月		
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題、実技60% 出席率20% 授業態度20%			

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ブランドMD	単 位	2
科目名	デザイン画	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	北澤 春江	(必修)	選択
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	36
実務教員	○ ミカレディ(株)、(株)一珠、(株)ジョゼにてファッション衣料の企画、デザインを担当。以降本校で長年デザイン画を教授している。		
授業の到達目標 及びテーマ	デザイン画を習得し、人体のバランス及びウェアの特徴を理解する		
授業の概要	ヌードプロポーションの基礎から応用までを描く デザインディテールを理解し、デザイン画として表現する		
授業計画	前期	4月	授業予定や目標、デザイン画の役割
		5月	ヌードプロポーションの基礎
		6月	ヌードプロポーションの応用
		7月	部分練習 顔、手、足
		8月	着装プロポーション
		9月	着装プロポーション
	後期	10月	ファッション誌の写真模写
		11月	マテリアルの描き方
		12月	マテリアルを活かしたデザイン画
		1月	トレンドスタイルからテーマを選んだデザイン画
		2月	トレンドスタイルからテーマを選んだデザイン画
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題50%		

学科名	ファッションビジネス		履修年次	1
コース名	ブランドMD		単 位	2
科目名	造形デザイン		授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	西條 綾子		必修	選択
授業方法	講義	演習 実習	授業時間数	36
実務教員	×			
授業の到達目標 及びテーマ	限られた条件の中でアイデアを膨らませ形にする制作を通じ、自分の個性を伸ばし伝えたいイメージを的確に表現できるようにする。 また物を正しく見るトレーニングで右脳を活性化し、集中して楽に正しく描けるようになる。自分の中の可能性を実感し、自信を持つ。			
授業の概要	平面における色と形による基本的な表現の基礎を学び実践する。 色の再現を通じて各自が使う色域の範囲を広げる。 対象物を様々な見方で描く実習を行い、見方と描き方の変化を検証する。			
授業計画	前期	4月	パターンデザイン	物を見るトレーニング・トレーニングの説明 トレーニング前の記録・自分の顔
		5月	パターンデザイン	物を見るトレーニング・逆に描く すばやく見る
		6月	パターンデザイン 屋外デッサン	ゆっくり見る
		7月	色の模写	対象物と背景の捉え方 光と影の描き方①
		8月	色の模写	光と影の描き方②
		9月	ミクスドメディア コラージュ	記号化の理解とそこから逃れる方法 自分の顔・トレーニング成果の検証
		10月	ミクスドメディア・コラージュ	
	後期	11月	ヴィジュアルブック	
		12月	ヴィジュアルブック	
		1月	デッサン	
		2月	授業のまとめ	
		3月		
	教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題提出状況40% 課題完成度40% 授業態度20%			

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ブランドMD	単 位	4
科目名	ゼミナール	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 通年
担当教員名	菅野 敦子		<input checked="" type="radio"/> 必修 選択
授業方法	講義 <input checked="" type="radio"/> 演習 実習	授業時間数	72
実務教員	○ 銀座三愛（現(株)Ai）にて商品企画、マーチャンダイザーを担当した教員が、 アパレル産業の実状やショップ、ブランドのあり方を教える。		
授業の到達目標 及びテーマ	自己表現からの売れる商品への付加価値の創出		
授業の概要	企画トレーニングと自己理解の追求		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	オリジナルTシャツ商品企画 イメージマップ制作
		11月	Tシャツデザイン テーマ、コンセプトからのデザイン発想
		12月	プレゼンテーションボード制作 プレゼンテーション実践
		1月	自己分析 進級制作 テーマ決定
		2月	進級制作
		3月	進級制作
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率25% 課題25% 授業態度25% 実技25%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ブランドMD	単 位	3
科目名	パソコンワーク	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	西條 綾子	(必修)	選択
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	54
実務教員	×		
授業の到達目標 及びテーマ	ApplePCの基本操作と、グラフィックデザインの代表的なソフトである「イラストレーター」の基本的な機能を使って、基本の画像編集、グラフィック作成と、imovieを使って動画編集が出来るようになる事を目指す。		
授業の概要	「イラストレーター」の基本的な機能の説明 レイアウトの基礎を学び実践する。 テーマを決めて動画の編集を行う。他者の作品についても全体で合評会を行う。		
授業計画	前期	4月	授業の説明 名刺のデザイン
		5月	カードデザイン 地図のデザイン
		6月	フライヤーデザイン (レイアウト演習)
		7月	フライヤーデザイン (レイアウト演習)
		8月	アイロンプリント
		9月	前期まとめ・実技試験
		10月	スライドショー制作
	後期	11月	ZINEの制作 (制作過程も記録)
		12月	
		1月	
		2月	↓
		3月	1年間のまとめ
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題提出状況 40% 課題完成度 40% 授業態度 20%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ブランドMD	単 位	2
科目名	ショップVMD	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	佐々木 美穂		(必修) 選択
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	36
実務教員	○ ディスプレイデザインのキャリアを積み、現在フリーのデコレーターとして活躍する講師が、ディスプレイ、ショップの商品陳列の基本、構成方法、ディスプレイの施工方法を総合的に教授する。		
授業の到達目標 及びテーマ	VMDの役割、基礎知識の習得を目標とする。		
授業の概要	VMDの効果と仕組みを学び、什器の配置やレイアウト、商品陳列などの習得を目標とする。		
授業計画	前期	4月	リアル店舗の役割について学ぶ
		5月	VMDの必要性、VP・IP・PPについて学ぶ
		6月	商品陳列とカラー展開を学ぶ
		7月	マネキン、トルソー、什器の種類を学ぶ
		8月	
		9月	レイアウトや同線について学ぶ
	後期	10月	POPによる効果を学習し、POPを制作
		11月	ショップをイメージしたショーウィンドウ制作
		12月	ゴールデンスペース、照明について学ぶ
		1月	商品の撮影方法を学ぶ
		2月	VP・IP・PPの演習を行いながら年間学習を総括
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率40 課題20% 授業態度20% 実技20%		

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ブランドMD	単 位	2
科目名	色彩学	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	相田 志	(必修)	選択
授業方法	(講義) 演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○ (株)オンワード樫山の営業、バイヤー、VMDとして活躍した後、office i代表として人材育成に勤しむ講師がファッション業界の様々な知識を教授する。		
授業の到達目標 及びテーマ	色相環とトーン表を理解することで色が出来る仕組み＝混色を学ぶ 色彩調和論の基本から色から伝わるイメージを理解する 色彩検定3級合格を必達し、自主的に2級を取得する力を付ける		
授業の概要	色彩の基本を理解し、配色の基本、カラーが伝えるイメージを理解する。 アパレルにおけるカラーの重要性を理解し、色によって感じ方の違いを学ぶ。		
授業計画	前期	4月	2019SS、AWコレクションよりトレンドカラーを知る。
		5月	PCCSの色相環とトーン表を理解する 絵具を使って混色を実践。色はどうやってできるのか？
		6月	色相環とトーン表より色の特性を学ぶ 色の持つイメージを理解する
		7月	光と色 色はなぜ見えるのかという科学的な根拠を学ぶ 目の構造と、「光、物体、視覚」の関係
		8月	色の三属性 色の視覚的効果
		9月	色の視覚的効果と知覚的効果 色相、トーンからの配色
	後期	10月	ファッション、インテリアにおける色彩 3級検定対策問題
		11月	3級検定対策問題 試験後は2級基礎～マンセル表色系
		12月	JISの色名と系統色名 ナチュラルハーモニーとコンプレックスハーモニー
		1月	自然から学ぶ色彩 配色技法応用
		2月	光の性質と色 照明の知識
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%、課題提出25%、期末試験25%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ブランドMD	単 位	1
科目名	マーチャンダイジング	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 敦子		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	18
実務教員	○ 銀座三愛（現(株)Ai）にて商品企画、マーチャンダイザーを担当した教員が、アパレル産業の実状やショップ、ブランドのあり方を教える。		
授業の到達目標及びテーマ	アパレル産業の業界知識、トレンドや店舗情報、仕入、商品構成などの視点から、ショップ、ブランドの在り方を探る		
授業の概要	アパレルの川上～川下の流れを掴み、各業態の実状を学ぶ		
授業計画	前期	4月	ファッション業界の仕組み
		5月	ファッションマーケティング知識
		6月	ショップリサーチ グループごとにテーマを決めてマップ制作
		7月	プレゼンテーション 夏季課題(東コレ研究)
		8月	
		9月	企業実習(オリジナルTシャツ作り)
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率25% 課題25% 授業態度25% 実技25%		

学科名	ファッションビジネス		履修年次	1	
コース名	ブランドMD		単 位	1	
科目名	アドバイザーワーク		授業期間	前期 後期 通年	
担当教員名	菅野 麻那		必修	選択	
授業方法	講義	演習 実習	授業時間数	18	
実務教員	○	(株)ファーストリテーリング、(株)三越伊勢丹ホールディングスにてキャリアを積んだ講師が、コミュニケーション能力、社会人基礎力の向上に繋がる講義を行う。チームビルディングや自己分析を行い、アパレル業界で必須の能力を養う。			
授業の到達目標 及びテーマ	コミュニケーション能力の向上を目指し、学内での良好な人間関係を作るサポートをすると共に、自己分析・グループワークをすることで、専門学校生としての自覚を持たせる				
授業の概要	自己分析やチームビルディングのアクティビティをゲーム方式で行う 更にプレゼンテーションのコツを学び、人前での上手な話し方を身につける				
授業計画	前期	4月	コミュニケーションカード(アドラー心理学) 自己分析とプレゼンテーション(メラビアンの法則)		
		5月	グループワーク① バスは待ってくれない、NASAゲーム		
		6月	グループワーク② マシュマロチャレンジ、グループディスカッション		
		7月	MBTI診断と自己分析 文章力向上ワーク		
		8月			
		9月	プレゼンテーション練習		
	後期	10月			
		11月			
		12月			
		1月			
		2月			
			3月		
	教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率70% プレゼンテーションテクニック30%				

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ブランドMD	単 位	1
科目名	ショッププロデュース	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 通年
担当教員名	浅野 喜幸		<input checked="" type="radio"/> 必修 選択
授業方法	<input checked="" type="radio"/> 講義 演習 実習	授業時間数	18
実務教員	○ 仙台市内にてICONSというセレクトショップを経営する講師。ICONZは洋服だけでなく人のライフスタイルの中で大切なものを提案するセレクトショップであり、その経営から得た知識、ノウハウを伝授する。		
授業の到達目標 及びテーマ	自分の理想とするショップ像の確立。 自店の強み(武器)を伸ばす。		
授業の概要	自身の求める理想の明確化と現実の比較。ショップ運営のリアルを体験する。 深める。		
授業計画	前期	4月	自己分析と理想の自店イメージ
		5月	ストアコンパリゾン(店舗調査) 色の影響
		6月	業態分析
		7月	マーチャンダイジングとは
		8月	仕入れと販売
		9月	自店(自分自身)の強みを明確化する
	後期	10月	ショップコンセプトの確立
		11月	販売力、販売ロールプレイング、売り場づくり
		12月	販売力、販売ロールプレイング、売り場づくり
		1月	ショップの運営について
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 課題30% 実技40%		

学科名	ファッションビジネス		履修年次	1
コース名	ブランドMD		単 位	2
科目名	ファッションコーディネート		授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 敦子		必修	選択
授業方法	講義	演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○	銀座三愛（現(株)Ai）にて商品企画、マーチャンダイザーを担当した教員が、アパレル産業の実状やショップ、ブランドのあり方を教える。		
授業の到達目標及びテーマ	ファッションに必要なコンセプトメイキングツールとしての要素の基礎を学ぶ			
授業の概要	多種多様な雑誌を利用し、マップ作りの基礎、プレゼンテーションの基礎を学ぶ			
授業計画	前期	4月	ファッション学に関するオリエンテーション 「自分にとってのファッション観とは？」	
		5月	ファッションを文化と捉え、ファッションを構成する4大テーマを映像学習し、レポートを作成する	
		6月	・人はなぜ装うのか？ ・世界のファッションデザイナー ・素材 ・色彩	
		7月	オケーションスタイリング(TPOの概念から対応するベストコーディネートの提案、マップ作り)	
		8月	ライフスタイリング→クラスター分析 ・衣食住+遊休知美というカテゴリーの把握から客層分類へ発展	
		9月	ライフスタイリングのマップ作り プレゼンテーション	
	後期	10月		
		11月		
		12月		
		1月		
		2月		
		3月		
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する	
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題50% 出席率50%			

学科名	ファッションビジネス		履修年次	1
コース名	ブランドMD		単 位	1
科目名	ファッションコーディネートB		授業期間	Ⓐ 前期 後期 通年
担当教員名	畑山 浩子		Ⓐ 必修	選択
授業方法	Ⓐ 講義	演習 実習	授業時間数	18
実務教員	×			
授業の到達目標 及びテーマ	8大感性を学ぶ事により曖昧なファッションイメージを明確にし、他者に伝える力を養う。ファッションイメージを他者に伝える為の言葉のツールを増やすようにする。			
授業の概要	・各感性に関する用語を調べ、イメージ分析、マップ作成。			
授業計画	前期	4月	①ロマンティック 用語調べ、イメージ分析、マップ作成	
		5月	②マニッシュ 用語調べ、イメージ分析、マップ作成	
			③スポーティブ 用語調べ、イメージ分析、マップ作成	
		6月	④エレガンス 用語調べ、イメージ分析、マップ作成	
			⑤エスニック 用語調べ、イメージ分析、マップ作成	
		7月	⑥モダン 用語調べ、イメージ分析、マップ作成	
	後期	8月	⑦アバンギャルド 用語調べ、イメージ分析、マップ作成	
		9月	⑧クラシック 用語調べ、イメージ分析、マップ作成	
		10月		
		11月		
		12月		
		1月		
		2月		
3月				
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題50% 出席率・授業態度50%			

学科名	ファッションビジネス		履修年次	1
コース名	ブランドMD		単 位	2
科目名	服飾美学(素材学、ビューティー、服装史)		授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	門馬 よし子/小幡 賢二/大宮 恵理		(必修)	選択
授業方法	(講義) 演習 実習	授業時間数	36	
実務教員	○	大宮恵理：(株)ジュン、イギン(株)、(株)リーガルマインドを通してパタンナー、デザイナー、そしてライセンスコーディネーターとして活躍していた。 小幡賢二：(有)コラボレーション・マル代表取締役として仙台のスタイリスト業界を牽引している。		
授業の到達目標 及びテーマ	(素材)洋服を制作する際に必要な素材の特徴、基本的な布地名、クリーニング法、被服の保管・加工法などの勉強。(ビューティー)ファッション業界でのスタイリスト、メイクアップアーティストの仕事と役割、世界観を学ぶ。(服装史)服装の成り立ちから現代のファッションデザインソースへの創造力の育成、服飾基礎理解と固定概念からの脱却。			
授業の概要	(素材)洋服を具体的な形にするための知識とそれをどのような素材で制作するか等の性質の特徴を習得する。(ビューティー)在仙で活躍するスタイリスト、メイクアップアーティストがテーマに合わせたテクニックを披露する。(服装史)海外ファッションと日本のファッションの関わりを理解。			
授業計画	前期	4月	繊維の種類と特徴と分類(素材)	
		5月	天然繊維の知識・動物繊維の知識(素材) 2019年春夏メイトレンド&トータルコーディネート(ビューティー)	
		6月	羊毛についての知識・化学繊維の知識(素材) 2019年ブライダルビューティー学(ビューティー)	
		7月	基本的な布地の名称・織物の三原組織(素材)	
		8月	プリント柄の分類及び名称(素材)	
		9月	ストライプ&チェック柄の名称(素材) 2019年秋冬メイトレンド&トータルコーディネート(ビューティー)	
	後期	10月	服地の表裏・たて・よこの見分け方、燃焼による布地の鑑別法(素材) 世界服飾の流れ、ヨーロッパのファッション史Ⅰ&Ⅱ(服装史)	
		11月	家庭用合成洗剤のあらまし及びクリーニング法(素材) モード産業、新しい衣服の方向Ⅰ(服装史)	
		12月	被服の保管(素材)	
		1月	しみの種類としみ抜き方法・加工法について(素材) 新しい衣服の方向Ⅱ、後期試験(服装史)	
		2月	試験解答手交、解答説明(服装史)	
		3月		
		3月		
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% レポート25% 試験25%			

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ブランドMD	単 位	2
科目名	ファッションビジネス能力検定 3級	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	村上 智子	(必修) 選択	
授業方法	(講義) 演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○ (株)クレッセントにてレディースカジュアルウェアの企画職を経験し、(株)織維リサーチにてファッションに関するトレンド、商品や消費者リサーチと、分析を行っていた講師が教授する。		
授業の到達目標 及びテーマ	現在のファッションビジネスは服に留まらず、私達のライフスタイルや社会と繋ったビジネスとして成り立っているという考えの基礎を習得し、合格を目指す。		
授業の概要	ファッションビジネスに於ける様々な職種、全体的な仕事の流れ、業態などの基礎知識を習得。また、作り手・売り手の立場に立った商品やサービスの在り方を学ぶ。		
授業計画	前期	4月	オリエンテーション 講義概要の説明、年間内容の説明
		5月	ファッションビジネスの概要 ファッションビジネスの特性について
		6月	ファッションビジネスの変遷 時代の流れとファッションの繋がり
		7月	ファッション産業と職種について ファッション産業の構造、アパレル企業/小売企業の業態など
		8月	ファッションと消費者 ファッション商品の購入に至るまでの心理・行動・ライフスタイル
		9月	ファッションと消費者 / ファッションマーケティング マーケティング基礎知識、市場調査
	後期	10月	ファッションマーチャンダイジング アパレル企業、アパレル小売企業の商品計画基礎知識
		11月	ファッション流通/ビジネス知識 流通の役割と機能内容/会社の特性、会計など
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率・授業態度・課題提出状況 50% 課題評価 50%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ブランドMD	単 位	1
科目名	接客英語	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 <input type="radio"/> 通年 <input type="radio"/>
担当教員名	菅野 麻那		<input checked="" type="radio"/> 必修 <input type="radio"/> 選択
授業方法	<input checked="" type="radio"/> 講義 <input type="radio"/> 演習 <input type="radio"/> 実習	授業時間数	18
実務教員	○ アメリカに留学経験があり、英語の教員免許を保有し、(株)ファーストリテーリング、(株)三越伊勢丹ホールディングスにてキャリアを積んだ講師が講義を行う。		
授業の到達目標 及びテーマ	ファッション業界における英語の必要性を理解し、実践することで、英語学習への興味を引き出す。外国との文化の違いや、異文化交流の楽しさも学び、日本だけでなく、広い世界へ視野を広げることを目標とする。		
授業の概要	ファッション業界での英語の必要性を理解した上で、ロールプレイングを行いながら基本のフレーズを覚える、簡単な文法の解説もし、自分でも文章を組み立てられるようにする		
授業計画	前期	4月	ファッション業界での英語 ファッション業界で使う英単語、熟語
		5月	ロールプレイング リスニング練習
		6月	ロールプレイング リスニング練習
		7月	ロールプレイング台本制作 グループ発表(寸劇)
		8月	英文法解説 試験
	後期	9月	
		10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 授業態度20% 試験50%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ブランドMD	単 位	1
科目名	ワーク	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	西條 綾子		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	36
実務教員	×		
授業の到達目標 及びテーマ	ゼミナールで実施する学内・学外実習の準備として、制作と個人指導を行う		
授業の概要	学外オリジナルショップの準備・制作 学校見学会オリジナルブランドプレゼンテーション&ショーの準備・制作 卒業制作学内審査・学外発表の準備・制作		
授業計画	前 期	4月	学外オリジナルショップの準備・制作
		5月	〃
		6月	学校見学会オリジナルブランドプレゼンテーション&ショーの準備と制作
		7月	〃
		8月	卒業制作学内審査の準備・制作
		9月	〃
	後 期	10月	〃
		11月	〃
		12月	〃
		1月	卒業制作学外発表の準備・制作
		2月	〃
		3月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率100%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ブランドMD	単 位	4
科目名	オープン実習	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	各学科担当者、講師		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	144
実務教員	○ (株)アングローバル、日本毛皮教会理事、ミシンメーカー営業、(株)ユニクロ、(株)三越伊勢丹ホールディングス、(株)AZOTH、Ana Dapuzzoデザイナー、Hanaemori Manuscritデザイナー、Keisuke Kandaデザイナー等が特別講師として講義、ワークショップを行う		
授業の到達目標及びテーマ	外部講師を招いての特別講義で社会のニーズと専門知識を学ぶ。学生個々やグループでの作品制作を通じて各自の個性を伸ばし、協調性を養う。学外実習や見学と通じ社会のしくみや繋がりを経験する。		
授業の概要	学外講師を招いての特別講義・ワークショップ 学外実習のための準備と制作 企業や文化施設、展示会等の見学、実習		

授業計画	前期	4月	対面式練習(2年) キャリア開発(2年) 校内企業説明会 コミュニケーション(1年)
		5月	ミシン・ロックミシン講習(1年) 特別教養講座(毛皮)(2年)
		6月	フリーマーケット実習(2年) 東京研修旅行(2年) 卒業生による特別講義Ⅰ
		7月	学校見学会用ファッションショー準備と制作 デザイン研究(デザイン造形学科)
		8月	アートフラワー(デザイン造形学科)
		9月	ファッションセミナー 企業研修(ファッションビジネス学科、アーツ&クラフト学科)
	後期	10月	
		11月	卒業生による特別講義Ⅱ
		12月	フォーマルファッション講座(2・3年)
		1月	ファッションイベント準備と制作
		2月	ファッションイベント本番
		3月	キャリア開発(1年)

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席状況 90% 課題(レポート等) 提出状況 10%

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ブランドMD	単 位	2
科目名	ファッションイベント	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 <input type="radio"/> 通年
担当教員名	西條 綾子		<input checked="" type="radio"/> 必修 <input type="radio"/> 選択
授業方法	講義 演習 <input checked="" type="radio"/> 実習	授業時間数	68
実務教員	×		
授業の到達目標 及びテーマ	縦割り活動であるファッションショー制作を行うことで、他学科の生徒ともコミュニケーションを図り、社会人基礎力に繋げる。主体的に行動する力、コミュニケーション能力を養い、成長に繋げる。		
授業の概要	ファッションショーの制作 演出、モデル、音響、映像、照明、広報、メイク、フィッター等各係に分かれて活動を行う。		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	学校テーマ発表
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作
		11月	
		12月	卒業制作審査会
		1月	ファッションショー作品確定 モデル選考、ショー構成、テクニカル打ち合わせ
		2月	練習、PR ファッションショー本番
		3月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率100%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	1
コース名	ブランドMD	単 位	2
科目名	進級制作	授業期間	前期 <input checked="" type="radio"/> 後期 通年
担当教員名	菅野 敦子		<input checked="" type="radio"/> 必修 選択
授業方法	講義 演習 <input checked="" type="radio"/> 実習	授業時間数	72
実務教員	○ 銀座三愛（現(株)Ai）にて商品企画、マーチャンダイザーを担当した教員が、アパレル産業の実状やショッパ、ブランドのあり方を教える。		
授業の到達目標 及びテーマ	1年間で学んできた内容を振り返り、グループワークにて企画を行うことで、次年度への目標を再確認する。		
授業の概要	年間の学びの総まとめとして、オリジナルブランド企画を行う。 クラス全体でファッションビル設立企画、グループにてブランド企画をし、企画書、プレゼンテーション、サンプル製作を行い、1年間の集大成を発表する。		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	進級制作
		11月	テーマ検討 デザイン案作成
		12月	企画書作成
		1月	サンプル縫製
		2月	プレゼンテーション作成
		3月	制作物まとめ プレゼン 評価
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 授業態度20% 課題30% プレゼンテーション20%		

ファッションビジネス学科

ブランドMD専攻 2年次 教育課程

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ブランドMD	単 位	2
科目名	服飾造形	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	阿部 瑠璃子		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○ 宮城ドレスメーカー専門学校にて教員を経験したのち、総合学園ヒューマンアカデミー(株)にて非常勤講師として縫製を教授していた講師が、リメイクや基礎縫製の技術を教える。		
授業の到達目標 及びテーマ	人に見せられる作品制作技術の習得。		
授業の概要	リメイク作品制作。		
授業計画	前期	4月	リメイク作品制作
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	↓
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題、実技60% 出席率20% 授業態度20%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ブランドMD	単 位	2
科目名	デザイン画	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	北澤 春江	必修	選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○ ミカレディ(株)、(株)一珠、(株)ジョゼにてファッション衣料の企画、デザインを担当。以降本校で長年デザイン画を教授している。		
授業の到達目標 及びテーマ	デザイン画のレベルを上げ、様々なファッションビジネスシーンで活かしていく		
授業の概要	テーマに沿ったデザイン画を描けるようになる デザインバリエーションの演習		
授業計画	前期	4月	テキストを使用し、カテゴリー別のデザイン画の練習
		5月	テキストを使用し、カテゴリー別のデザイン画の練習
		6月	デザインコンテストへの参加
		7月	素材表現のテクニック
		8月	個性、方向性に沿ったデザイン画
		9月	個性、方向性に沿ったデザイン画
	後期	10月	卒業制作に向けてのデザイン画考案
		11月	卒業制作のデザイン画バリエーション
		12月	卒業制作のデザイン画バリエーション
		1月	卒業制作のデザイン画バリエーション
		2月	修了課題
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題50%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ブランドMD	単 位	4
科目名	メイキング	授業期間	前期 (後期) 通年
担当教員名	阿部 瑠璃子		(必修) 選択
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	72
実務教員	○ 宮城ドレスメーカー専門学校にて教員を経験したのち、総合学園ヒューマンアカデミー(株)にて非常勤講師として縫製を教授していた講師が、リメイクや基礎縫製等の技術を教える。		
授業の到達目標 及びテーマ	人に見せられる作品制作技術の習得。		
授業の概要	卒業制作作品製作		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作メイキング
		11月	↓
		12月	▼
		1月	修正
		2月	
		3月	
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題、実技60% 出席率20% 授業態度20%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ブランドMD	単 位	7
科目名	ゼミナール	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 敦子/西條 綾子		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	108
実務教員	○ 銀座三愛（現(株)Ai）にて商品企画、マーチャンドライザーを担当した教員が、アパレル産業の実状やショップ、ブランドのあり方を教える。		
授業の到達目標及びテーマ	ファッションビジネスまたはアート出店への実学。		
授業の概要	フリーマーケット出展企画を通して、出店の仕組みを学ぶ。卒業制作としてオリジナルブランドを企画、制作をし、ファッションセンスや縫製技術を向上させる。		
授業計画	前期	4月	フリーマーケット実習
		5月	オリジナルTシャツ制作 委託商品の募集
		6月	企画から制作、仕入れ、管理、販売の流れを学ぶ
		7月	私の世界観(夏季課題)
		8月	リアルマーケティングリサーチ
		9月	卒業制作の企画概要
	後期	10月	卒業制作 ↓
		11月	
		12月	↓
		1月	ファッションイベントに向け、作品のブラッシュアップ
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率25% 課題25% 授業態度25% 実技25%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ブランドMD	単 位	4
科目名	パソコンワーク	授業期間	前期 後期 (通年)
担当教員名	西條 綾子		(必修) 選択
授業方法	講義 (演習) 実習	授業時間数	72
実務教員	×		
授業の到達目標 及びテーマ	1年次に学んだ基本をふまえ、卒業制作に向けて、各自のテーマに沿った実践的なグラフィックデザインの制作と、より完成度の高い動画編集が出来るようになる事を目指す。		
授業の概要	「イラストレーター」のより高度な機能の説明 店舗、イベント等で使用されるグラフィックデザインの制作 学科紹介の動画編集 卒業制作における各自の企画書・プレゼン用動画の制作		
授業計画	前期	4月	授業の説明 学科紹介のムービー制作（コンセプトから制作まで）
		5月	↓
		6月	↓
		7月	店舗のグラフィックデザイン（コンセプトから制作まで）
		8月	↓
		9月	卒業制作企画書・資料集
	後期	10月	↓
		11月	卒業制作プレゼン用動画制作
		12月	↓
		1月	卒業制作発表会用グラフィック・動画の制作
		2月	1年間のまとめ
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題提出状況40% 課題完成度40% 授業態度20%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ブランドMD	単 位	1
科目名	ショップVMD	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	佐々木 美穂		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	18
実務教員	○ ディスプレイデザインのキャリアを積み、現在フリーのデコレーターとして活躍する講師が、ディスプレイ、ショップの商品陳列の基本、構成方法、ディスプレイの施工方法を総合的に教授する。		
授業の到達目標 及びテーマ	VMDの基礎知識を広げ、店舗に活かせる技術力を目指す。		
授業の概要	VMDを理解し、VP・PP・IPの演習、ショーウィンドウの制作を行いながら店舗におけるVMDの必要性を習得する。		
授業計画	前期	4月	4W2H(ディスプレイ)計画を学ぶ
		5月	VP・PP・IPの演習
		6月	アイテム別の畳方、商品陳列の演習
		7月	ショップをイメージしたショーウィンドウ制作
		8月	
		9月	ショップVMDの演習を行いながら年間学習を総括
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率 40% 課題20% 授業態度20% 実技20%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ブランドMD	単 位	1
科目名	ショッププロデュース	授業期間	<input checked="" type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期 <input type="radio"/> 通年
担当教員名	浅野 喜幸		<input checked="" type="radio"/> 必修 <input type="radio"/> 選択
授業方法	<input checked="" type="radio"/> 講義 <input type="radio"/> 演習 <input type="radio"/> 実習	授業時間数	18
実務教員	<input type="radio"/> 仙台市内にてICONSというセレクトショップを経営する講師。ICONZは洋服だけでなく人のライフスタイルの中で大切なものを提案するセレクトショップであり、その経営から得た知識、ノウハウを伝授する。		
授業の到達目標 及びテーマ	自分の理想とするショップ像の確立。 自店の強み(武器)を伸ばす。		
授業の概要	自身の求める理想の明確化と現実の比較。ショップ運営のリアルを体験する。 深める。		
授業計画	前期	4月	自店(自分自身)の強みを明確化する
		5月	ショップコンセプトの確立
		6月	販売力、販売ロールプレイング、売り場づくり
		7月	販売力、販売ロールプレイング、売り場づくり
		8月	ショップの運営について
		9月	
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30% 課題30% 実技40%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス		履修年次	2
コース名	ブランドMD		単 位	4
科目名	アイテム企画		授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	北澤 春江		必修	選択
授業方法	講義	演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○	ミカレディ(株)、(株)一珠、(株)ジョゼにてファッション衣料の企画、デザインを担当。以降本校で長年デザイン画を教授している。		
授業の到達目標 及びテーマ	ファッションビジネスとしてのテーマを追求し、アイテム画として構成していく			
授業の概要	アイテムそれぞれの特徴とディテールを理解し、描く テーマに沿ったアイテム画を素材も考慮したバリエーションとして考える			
授業計画	前期	4月	授業予定と目標、アイテム画の役割	
		5月	テーマ、ブランドやショップの方向性、シーズン、素材を決める	
		6月	イメージ写真の収集、デザインのラフ画作成	
		7月	素材別のデザインバリエーションをアイテム画で構成する	
		8月	イメージ写真とアイテム画をボードに構成する	
		9月	テーマはコンセプトを文字で構成し、まとめる	
	後期	10月		
		11月		
		12月		
		1月		
		2月		
		3月		
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する	
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50% 課題50%			

教育課程

学科名	ファッションビジネス		履修年次	2
コース名	ブランドMD		単 位	2
科目名	ファッションビジネス能力検定 2級		授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	相田 志		必修	選択
授業方法	講義	演習 実習	授業時間数	36
実務教員	○	(株)オンワード樫山の営業、バイヤー、VMDとして活躍した後、office i代表として人材育成に勤しむ講師がファッション業界の様々な知識を教授する。		
授業の到達目標 及びテーマ	アパレルメーカーの物づくりの手順を理解することで、ファッション・ビジネス全体の流通を理解する。現状のファッション業界を知る。 ファッションビジネス検定2級合格			
授業の概要	世界各国のファッションの歴史、日本のファッションビジネスの変遷を学ぶ。ターゲット、マーケティングを理解することで商品が出来るまでの流れを理解する。トレンド情報の収集力を身に付ける。 素材、アイテムの専門知識を学び実践に役立つ知識を身に付ける			
授業計画	前期	4月	世界のファッション史の変遷を理解する。 アパレルにおける創・工・商の役割を学ぶ。	
		5月	各年代ごとの時代とファッションの関連を学ぶ。 ファッション産業構造。アパレル業界の産業と取り巻く環境を知る。	
		6月	小売企業の変遷と今後のファッション業界の方向性を予測する。 形態別商品企画とSPAについて学ぶ。	
		7月	現在のアパレルメーカーの物づくりの手法。 アパレルメーカーの本来の物づくりからOEMとODMへの変化の理由	
		8月	社会背景や経済状況と商品動向の変化。 ファッション情報の収集・分析・予測の重要性。	
		9月	ファッションアパレル流通戦略。 アパレル営業とチャネル管理	
	後期	10月	販売管理とプロモーション戦略。 素材の知識、ディティールの知識、アイテムの知識。	
		11月	アパレルマーチャンダイジングと商品企画段階を学ぶ。 シーズンMD、月別MD計画から商品仕入計画とトレンド予測。	
		12月		
		1月		
		2月		
		3月		
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する	
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%、課題提出25%、期末試験25%			

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ブランドMD	単 位	1
科目名	キャリア開発	授業期間	○前期 後期 通年
担当教員名	菅野 麻那		○必修 選択
授業方法	○講義 演習 実習	授業時間数	18
実務教員	○ (株)ファーストリテーリング、(株)三越伊勢丹ホールディングスにてキャリアを積んだ講師が、コミュニケーション能力、社会人基礎力の向上に繋がる講義を行う。チームビルディングや自己分析を行い、アパレル業界で必須の能力を養う。		
授業の到達目標 及びテーマ	就職活動や進路決定への不安を取り除き、全員が進路決定出来る様サポートする		
授業の概要	面接練習、グループディスカッション対策を行い、就職活動への恐怖心を和らげる。就職支援だけでなく、社会人としての教養も養い、卒業へ向けての準備をさせる		
授業計画	前期	4月	履歴書の書き方 受かるエントリーシートとは
		5月	敬語の使い方 適性検査対策 (SPI,一般常識問題) 集団面接対策
		6月	グループディスカッション対策 個人面接対策
		7月	グループディスカッション対策 個人面接対策
		8月	お金に関する学習 (クレジットカード、各種保険、年金、税金、生活費等)
		9月	将来のキャリア形成について (人生設計、卒業後の目標)
	後期	10月	
		11月	
		12月	
		1月	
		2月	
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率100%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ブランドMD	単 位	3
科目名	卒制ワーク	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	西條 綾子	必修	選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	90
実務教員	×		
授業の到達目標 及びテーマ	ゼミナールで実施する学内・学外実習の準備として、制作と個人指導を行う		
授業の概要	学外オリジナルショップの準備・制作 学校見学会オリジナルブランドプレゼンテーション&ショーの準備・制作 卒業制作学内審査・学外発表の準備・制作		
授業計画	前期	4月	学外オリジナルショップの準備・制作
		5月	〃
		6月	学校見学会オリジナルブランドプレゼンテーション&ショーの準備と制作
		7月	〃
		8月	卒業制作学内審査の準備・制作
		9月	〃
	後期	10月	〃
		11月	〃
		12月	〃
		1月	卒業制作学外発表の準備・制作
		2月	〃
		3月	
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題提出状況50 出席状況50		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ブランドMD	単 位	4
科目名	オープン実習	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	各学科担当者、講師		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	144
実務教員	○ (株)アングローバル、日本毛皮教会理事、ミシンメーカー営業、(株)ユニクロ、(株)三越伊勢丹ホールディングス、(株)AZOTH、Ana Dapuzzoデザイナー、Hanaemori Manuscritデザイナー、Keisuke Kandaデザイナー等が特別講師として講義、ワークショップを行う		
授業の到達目標 及びテーマ	外部講師を招いての特別講義で社会のニーズと専門知識を学ぶ。学生個々やグループでの作品制作を通じて各自の個性を伸ばし、協調性を養う。学外実習や見学と通じ社会のしくみや繋がりを経験する。		
授業の概要	学外講師を招いての特別講義・ワークショップ 学外実習のための準備と制作 企業や文化施設、展示会等の見学、実習		

授業計画	前期	4月	対面式練習(2年) キャリア開発(2年) 校内企業説明会 コミュニケーション(1年)
		5月	ミシン・ロックミシン講習(1年) 特別教養講座(毛皮)(2年)
		6月	フリーマーケット実習(2年) 東京研修旅行(2年) 卒業生による特別講義Ⅰ
		7月	学校見学会用ファッションショー準備と制作 デザイン研究(デザイン造形学科)
		8月	アートフラワー(デザイン造形学科)
		9月	ファッションセミナー 企業研修(ファッションビジネス学科、アーツ&クラフト学科)
	後期	10月	
		11月	卒業生による特別講義Ⅱ
		12月	フォーマルファッション講座(2・3年)
		1月	ファッションイベント準備と制作
		2月	ファッションイベント本番
		3月	キャリア開発(1年)

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席状況 90% 課題(レポート等) 提出状況 10%

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ブランドMD	単 位	2
科目名	ファッションイベント	授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	西條 綾子		必修 選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	68
実務教員	×		
授業の到達目標 及びテーマ	縦割り活動であるファッションショー制作を行うことで、他学科の生徒ともコミュニケーションを図り、社会人基礎力に繋げる。主体的に行動する力、コミュニケーション能力を養い、成長に繋げる。		
授業の概要	ファッションショーの制作 演出、モデル、音響、映像、照明、広報、メイク、フィッター等各係に分かれて活動を行う。		
授業計画	前 期	4月	
		5月	
		6月	学校テーマ発表
		7月	
		8月	
		9月	
	後 期	10月	卒業制作
		11月	
		12月	卒業制作審査会
		1月	ファッションショー作品確定 モデル選考、ショー構成、テクニカル打ち合わせ
		2月	練習、PR ファッションショー本番
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率100%		

教育課程

学科名	ファッションビジネス	履修年次	2
コース名	ブランドMD	単 位	2
科目名	卒業制作	授業期間	前期 (後期) 通年
担当教員名	菅野 敦子		(必修) 選択
授業方法	講義 演習 (実習)	授業時間数	72
実務教員	○ 銀座三愛(現株)Ai)にて商品企画、マーチャンドライザーを担当した教員が、アパレル産業の実状やショップ、ブランドのあり方を教える。		
授業の到達目標及びテーマ	卒業制作を悔いのないものにし、学生生活の集大成とする。学内テーマと個人テーマを追求し、メッセージ性の強い作品を作りあげる。		
授業の概要	卒業制作作品のテーマ設定、作品制作、企画書・資料集の作成、プレゼンテーション準備		
授業計画	前期	4月	
		5月	
		6月	
		7月	
		8月	
		9月	
	後期	10月	卒業制作準備
		11月	卒業制作準備
		12月	卒業制作準備 評価1
		1月	ファッションイベント準備 評価1を受けて修正
		2月	ファッションイベント準備 発表
		3月	
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する		
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20% 課題40% 授業態度40%		